

PWE 誌の査読システムと編集方針

Review System and Editing policy in PWE

○溝口勝*

MIZOGUCHI Masaru*

1. はじめに

PWE 誌は今年で 9 年目を迎えた。この間、PWE 誌は中野芳輔前編集長の献身的な努力により、2009 年 12 月に SCIE (Science Citation Index Expanded) への収録を実現した。今後は、国際誌としての地位を維持するための継続的な努力が必要である。その一つはスムーズな査読システムの運用である。PWE では 2008 年に Springer 社が提供する Editorial Manager という Online 査読システムを導入したが、そのシステムを十分に使えてないのが現状である。そこで本発表では、PWE の編集方針について述べると共に、査読システムの具体的な利用法について説明する。

2. PWE 誌とは

国際水田・水環境工学会 (PAWEES; International Society of Paddy and Water Environment Engineering) の機関誌「Paddy and Water Environment」の略称である。2003 年 3 月創刊。日本・韓国・台湾の農業工学系の研究者や技術者を中心に編集され、年 4 回 Springer-Verlag 社 (ドイツ) から定期刊行されている。昔は農業土木学会論文英文誌が刊行されていたが、最近では PWE 誌がこれに代わりつつある。

3. PWE の編集方針

(1) 編集方針

水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的とし、基本的には水田農業工学に関して農業農村工学会が扱っている分野を対象にしている。(Table-1) 掲載論文は、Review, Article, Technical Report および

Short Communication の 4 種類である。投稿から掲載までの時間を短縮するために、Web による査読システムを導入している。投稿者は国際学会員に限るが、投稿料、掲載料などを無料として投稿者の負担を軽くしている。

Table-1 PWE で扱う対象分野

-
- ①灌漑 (水配分管理, 水収支, 灌漑施設, 栽培管理)
 - ②排水 (排水管理, 排水施設)
 - ③土壌保全 (土壌改良, 土壌物理)
 - ④水資源保全 (水源開発, 水文)
 - ⑤水田の多面的機能 (洪水調節, 地下水涵養など)
 - ⑥生態系の保全 (水生, 陸生動植物の生態系)
 - ⑦地域計画 (農村計画, 土地利用計画など)
 - ⑧バイオ環境システム (水田農業と水環境, 土壌環境, 気象環境)
 - ⑨水田の多目的利用 (田畑転換, 施設園芸)
 - ⑩農業政策 (農村振興, 条件不利地の支援策など)
-

(2) 編集体制

Table-2 のような体制で編集作業にあっている。実質的な編集事務局は Managing Editors の Chief が担当する。現在は台湾が担当しているが、2012 年 1 月～2014 年 12 月までの 3 年間は日本が担当となるため、その体制作りが急務である。

Table-2 PWE の編集体制

-
- a. Editor-in-Chief (日本 1 名)
 - b. Managing Editors (台湾 1 名, 日本 3 名, 韓国 1 名)
 - c. Editors (23 名; 13 カ国)
 - d. Editing Board (35 名)
 - e. Reviewer (2 名; 通常は d から選ばれる)
-

* 東京大学大学院農学生命科学研究科 Graduate School of Agricultural and Life Sciences

キーワード: PAWEES, PWE, 水田・水環境研究

3. PWE の査読システム

(1)原稿の流れ

投稿受付から査読まで、全ての作業は Web 上で行われる。原稿の流れは以下になる。

- ①投稿：著者から編集事務局 (b) に Web から投稿
投稿先 <https://www.editorialmanager.com/pawe/>
- ②Editor の決定：c から b が 1 名を指名
- ③査読者の決定：主に d から c が 2 名の査読者を指名（内容によっては d 以外からも指名される）
- ④査読：査読者が 3 週間以内に結果を報告
- ⑤掲載可否の判断：c が査読者のコメント（最大 2 回まで）に従って可否を判断し、b に報告
- ⑥掲載：b が出版社に掲載指示

(2) 査読システムの具体的な利用法

上記の過程で「投稿から掲載までの時間を短縮する」最大のネックになっているのが、査読作業である。査読者が多忙であることもあるが、主たる原因は Board メンバー以外で指名された日本の査読者が Web による査読システムに慣れていないことにある。査読者に指名されたら以下の作業に速やかに取り組んでほしい。

①依頼メールの受信：Editor から査読者に指名されると、PAWE: Reviewer Invitation for "Title" という件名のメールが Editor-in-Chief から届く。（見覚えのない英語メールのため スパムメールと間違えやすいので注意!）

②査読承諾の意思表示：メール本文中の要旨を読み、査読承諾の可否を判断し、速やかに本文中 URL のリンクをクリックする。承諾可否の返事がない場合には数日後に再度メールが届く。

③査読の開始：査読を承諾すると、PAWE: Thank you for agreeing to review という件名のメールが届く。メール本文中の URL にアクセスし、ユーザ名とパスワードを使って Login し、Fig. 1 の査読作業画面を表示させる。

④原稿のダウンロード

”View Submission” を選択し、PDF 原稿をダウンロードする。印刷し査読作業を開始する。

⑤査読結果の報告

査読が終了したら、再び Fig. 1 の画面を表示し、”Submit Recommendation” をクリックし、Web からコメントを入力する。予め、コメントを

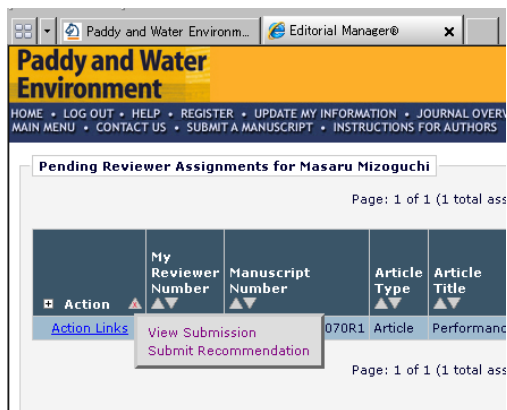


Fig. 1 査読システムの Reviewer 用画面

<http://pawe.edmgr.com/>

Status Date	Document Status	Status Days	Role Family	Revision	Q
12-03-2011	With Editor	----	EDITOR	1	Yl
11-03-2011	Revision Submitted to Journal	1	EDITOR	1	Ur
10-03-2011	Revision Needs Approval	1	AUTHOR	1	Ur
10-03-2011	Building PDF	----	AUTHOR	1	Ur
10-03-2011	Incomplete	----	AUTHOR	1	Ur
27-02-2011	Revision Needs Approval	11	AUTHOR	1	Ur
27-02-2011	Building PDF	----	AUTHOR	1	Ur
23-01-2011	Incomplete	35	AUTHOR	1	Ur
25-12-2010	Revise	29	REVIEWER	0	Mu
25-12-2010	Decision in Process	----	REVIEWER	0	Mu
09-09-2010	Under Review	107	REVIEWER	0	Mu
08-09-2010	With Editor	1	EDITOR	0	Yl
08-09-2010	Submitted to Journal	----	EDITOR	0	Ur
08-09-2010	Needs Approval	----	AUTHOR	0	Ur
08-09-2010	Building PDF	----	AUTHOR	0	Ur
22-08-2010	Incomplete	17	AUTHOR	0	Ur

Fig. 2 査読システムの状況把握画面

WORD 等で作成しておき、これをコピー&ペーストすると良い。

(3) 査読システムの管理

一連の原稿のやり取りは、”STATUS HISTORY” に自動的に保存され、Editor や Author がいつでも状況を確認できるようになっている。3 週間が経過しても査読結果が Submit されないと、査読者に自動リマインドメールが届く。

4. おわりに

水田農業はアジアモンスーン地域の風土に根ざした技術である。その意味で、日本が PWE を通して、その学術・技術に関する知を世界に発信することの意義はきわめて大きい。農業農村工学会会員諸氏におかれましては、査読者に指名された場合の速やかな対応をお願いしたい。

参考文献 中野芳輔:PWE 誌の SCIE 収録とその波及効果, 農業農村工学会大会要旨集, pp.58-59(2010)